

「土質試験 基本と手引き 第二回改訂版」正誤表

2017/11/15 更新

No.	正誤表への追加	訂正版への反映	page	行位置	誤	正																																	
1	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.24～	式(3.10)～(3.15)をはじめとして多数の箇所	分数式の横線が分離（印刷ミス）	横線をつなぐ。例えば、 $\frac{\rho_s + \frac{m_w}{\rho_s}}{1 + e} \rightarrow \frac{\rho_s + \frac{m_w}{\rho_s}}{1 + e}$																																	
2	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.24	式(3.13)	$\dots = \frac{\rho_s + \frac{m_w}{\rho_s}}{1 + e} \frac{\rho_s + e \frac{S_c}{100}}{1 + e}$	$\dots = \frac{\rho_s + \frac{m_w}{\rho_s}}{1 + e} = \frac{\rho_s + e \frac{S_c}{100}}{1 + e}$																																	
3	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.36	下から8行目	比重浮ひょう理論	密度浮ひょう理論																																	
4	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.37	上から8行目																																			
5	2017/11/15	平成28年3月29日訂正第6刷以降	p.42	下から11行目	団子状の試料から、約8gをとって・・・	団子状の試料から、約1.5gをとって・・・																																	
6	2017/11/15	平成28年3月29日訂正第6刷以降	p.42	下から11行目 補足説明	約8gの目安としては、・・・	約1.5gの目安としては、・・・																																	
7	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.45	右補足欄の文献2)	2) 田中洋行・榊原基生：港湾地形における土の一次的性質の・・・	2) 田中洋行・榊原基生：港湾地域における土の一次的性質の・・・																																	
8	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.64	上から6行目 設問3)	・・・乾燥密度 $\rho_d=1.515\text{g/cm}^3$ であるとき・・・	・・・乾燥密度 $\rho_d=1.515\text{g/cm}^3$ であるとき・・・																																	
9	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.72	3.①の右補足欄	試料土の粒径が表-9.1の許容最大粒径を越える粗粒分を含む場合には、・・・	試料土の粒径が表-9.1の許容最大粒径を越える粗粒分を含む場合には、・・・																																	
10	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.77	6.3の右補足欄	・・・礫の混入率が40%を越えるとその仮定が成り立たなくなり、・・・	・・・礫の混入率が40%を越えるとその仮定が成り立たなくなり、・・・																																	
11	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.79	図-10.1の左上	用具の準備	器具の準備																																	
12	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.83	4.1の右補足欄	・・・路床の状態と膨張量の目安を下表に示す。	・・・路床の状態と膨張比の目安を下表に示す。																																	
13	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.83	4.1の右補足欄の表	<table border="1"> <thead> <tr> <th>路床の状態</th> <th>膨張量 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>良好な路床</td> <td>1 以下</td> </tr> <tr> <td>通常の路床</td> <td>2 以下</td> </tr> <tr> <td>不良な路床</td> <td>3 以下</td> </tr> <tr> <td>腐植土</td> <td>7～20</td> </tr> </tbody> </table>	路床の状態	膨張量 (%)	良好な路床	1 以下	通常の路床	2 以下	不良な路床	3 以下	腐植土	7～20	<table border="1"> <thead> <tr> <th>路床の状態</th> <th>膨張比 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>良好な路床</td> <td>1 以下</td> </tr> <tr> <td>通常の路床</td> <td>3 以下</td> </tr> <tr> <td>不良な路床</td> <td>3 以上</td> </tr> <tr> <td>腐植土</td> <td>7～20</td> </tr> </tbody> </table>	路床の状態	膨張比 (%)	良好な路床	1 以下	通常の路床	3 以下	不良な路床	3 以上	腐植土	7～20													
路床の状態	膨張量 (%)																																						
良好な路床	1 以下																																						
通常の路床	2 以下																																						
不良な路床	3 以下																																						
腐植土	7～20																																						
路床の状態	膨張比 (%)																																						
良好な路床	1 以下																																						
通常の路床	3 以下																																						
不良な路床	3 以上																																						
腐植土	7～20																																						
14	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.85	下から4行目	・・・貫入ピストンの断面積 (0.1964m <sup>2</sup> ) で除したものを荷重強さ (MN/m <sup>2</sup> ) という。	・・・貫入ピストンの断面積 (19.63cm <sup>2</sup> ) で除したものを荷重強さ (MN/m <sup>2</sup> ) という。																																	
15	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.87	図-10.5 下部	CBR <sub>3</sub> 及び h <sub>3</sub>	CBR <sub>n</sub> 及び h <sub>n</sub>																																	
16	-	訂正第6刷予定	p.87	式(10.12)	$\sigma_{n-1} = \sqrt{\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (CBR_i - \overline{CBR})^2}$	$\sigma_{n-1} = \sqrt{\frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (CBR_i - \overline{CBR})^2}$																																	
17	-	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.88	表-10.8 上から4行目	常熱混合：安定度2.45kN以上	常温混合：安定度2.45kN以上																																	
18	2015/3/11	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.99	表-11.4 左下から1行目 D <sub>20</sub> =0.16mmに対する透水性係数k(m/s)	3.1×10 <sup>-5</sup>	5.1×10 <sup>-5</sup>																																	
19	2014/9/3	～平成27年3月31日訂正第5刷	p.127	5.1 注意事項欄 (左側上から2つ目の吹き出し)	$m_s = \frac{(m_s - m_R)}{1 + w_0/100}$	$m_s = \frac{(m_1 - m_R)}{1 + w_0/100}$																																	
20	2017/11/15	訂正第6刷予定	p.221	データシート JIS A 1217/JGS 0411 土の段階載荷による圧密試験 (圧密度-時間曲線)	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>載荷段階</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧密圧力 p</td> <td>kN/m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>載荷直前読み d<sub>i</sub></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧密度0%読み d<sub>0</sub></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最終読み d<sub>f</sub></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧密度100%読み d<sub>100</sub></td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧密度</td> <td>ΔH</td> <td>cm</td> </tr> <tr> <td>一次圧密度</td> <td>ΔH<sub>1</sub></td> <td>cm</td> </tr> <tr> <td>圧密率90, 50%時間</td> <td>t<sub>90</sub>, t<sub>50</sub></td> <td>min</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ΔH = (d<sub>f</sub> - d<sub>i</sub>) / 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">ΔH<sub>1</sub> = (d<sub>100</sub> - d<sub>0</sub>) / 10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	載荷段階			圧密圧力 p	kN/m <sup>2</sup>		載荷直前読み d <sub>i</sub>	mm		圧密度0%読み d <sub>0</sub>	mm		最終読み d <sub>f</sub>	mm		圧密度100%読み d <sub>100</sub>	mm		圧密度	ΔH	cm	一次圧密度	ΔH <sub>1</sub>	cm	圧密率90, 50%時間	t <sub>90</sub> , t <sub>50</sub>	min	ΔH = (d <sub>f</sub> - d <sub>i</sub> ) / 10			ΔH <sub>1</sub> = (d <sub>100</sub> - d <sub>0</sub> ) / 10		
載荷段階																																							
圧密圧力 p	kN/m <sup>2</sup>																																						
載荷直前読み d <sub>i</sub>	mm																																						
圧密度0%読み d <sub>0</sub>	mm																																						
最終読み d <sub>f</sub>	mm																																						
圧密度100%読み d <sub>100</sub>	mm																																						
圧密度	ΔH	cm																																					
一次圧密度	ΔH <sub>1</sub>	cm																																					
圧密率90, 50%時間	t <sub>90</sub> , t <sub>50</sub>	min																																					
ΔH = (d <sub>f</sub> - d <sub>i</sub> ) / 10																																							
ΔH <sub>1</sub> = (d <sub>100</sub> - d <sub>0</sub> ) / 10																																							